



# IR説明会資料 (2010年3月期 第2四半期決算)

株式会社 極 洋 (1301)

<http://www.kyokuyo.co.jp>

## ■ 2010年3月期第2四半期概要説明

トピックス	<u>3-6P</u>
企業集団の状況	<u>7P</u>
決算概要	<u>8-22P</u>

## ■ 2010年3月期業績予想及び下半期施策

連結・単独業績予想	<u>24P</u>
事業セグメント別連結売上高・営業利益予想	<u>25P</u>
事業セグメント別施策	<u>26-30P</u>
設備投資計画	<u>31P</u>

# 2010年3月期 第2四半期概要説明

## ■ キョクヨーマリンファーム(株)「本まぐろの極(きわみ)」初出荷 (9月)

- ・初年度(2007年度)活け入れ分の出荷を開始(40kg程度)
- ・今年度110トン 約4億円の出荷を目標
- ・5~10年先には1,000トン出荷体制にする計画
- ・現在の生簀(直径60m)4基から将来10基まで増やす予定
- ・宿毛湾以外の地域に新たな養殖場設置を検討中



成魚釣上げの様子



「本まぐろの極」

### ■ ”スモークサーモン”が2009モンドセレクション金賞を受賞 (6月)

- ・コンセプト:「本格的なスモークサーモンを刺身感覚で食べてほしい」
- ・製造工場:タイKUE社(欧米基準に加え、厳格な日本の衛生基準を満たす生食専用工場)で徹底した衛生管理のもとに製造
- ・特徴 :原料は鮮度・身質・身色にこだわったチリ産トラウトを吟味  
添加物不使用、塩分濃度2%に抑えた減塩タイプ



スモークサーモン

### ■ 「タイランド・ベスト・フレンド賞」を受賞 (8月)

- ・寿司関連商材他の水産加工品の輸入に貢献したとして、タイ国政府商務省より授与



## 第2四半期累計期間のトピックス

### ■ 株主総会のビジュアル化 (6月)

- ・総会開始前に会社概要DVDを上映し、当社の事業内容を紹介
- ・総会では、事業報告、決算数値、計算書類についてグラフや表などを使った映像により説明

### ■ 株主優待(新設)の実施 (7月)

- ・対象株主: 基準日(3月31日)現在で1,000株以上所有の株主
- ・優待内容: 5,000円相当の当社製品(缶詰セット)を贈呈

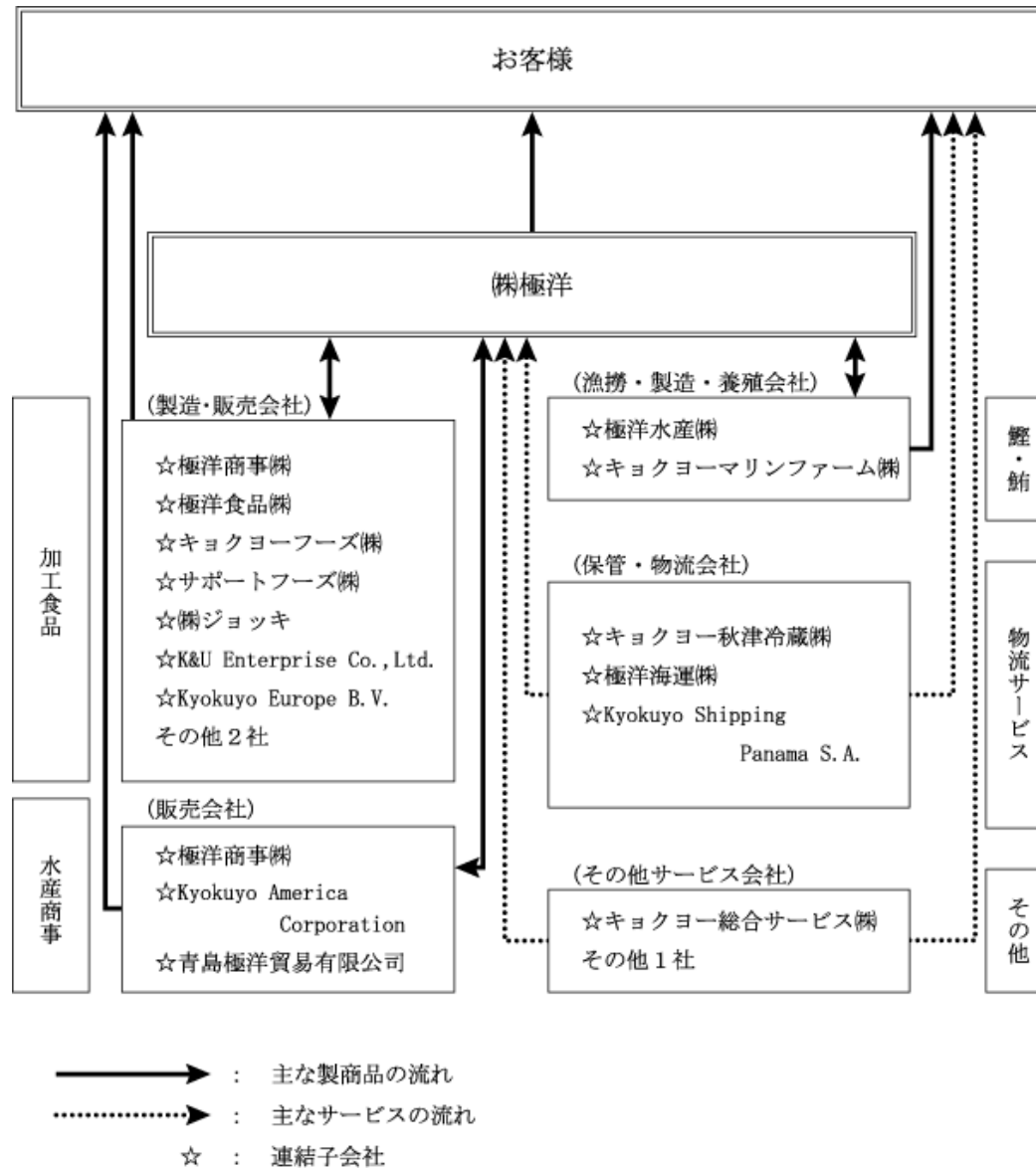
### ■ CSR活動の一環として「極洋グループ社会・環境報告書2009」発刊(9月)

## ■ 海外まき網船「第七わかば丸」竣工（10月）

- ・新船概要 : 総トン数760トン型、積荷1,200トン
- ・造船所 : (株)三保造船所
- ・進水式 : 2009年6月20日
- ・竣工日 : 2009年10月1日
- ・初出港日 : 2009年10月15日
- ・設備投資金額 : 23億円
- ・新船の特徴 : 国際競争力を有する大型化  
操業効率、燃費効率の向上  
小型魚混獲回避のための魚網使用  
魚群探索用ヘリコプター搭載可能



第七わかば丸



09年9月末現在、当社グループの子会社は16社、その他関連会社は2社です。





# 2010年3月期 第2四半期決算概要

## 1. 連結損益計算書

(単位:百万円)

	09年3月期 第2四半期 累計期間	10年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期比		10年3月期第2四半期	
			(増減金額)	(比率)	当初計画	達成率
売上高	73,644	70,465	△ 3,179	△4.3%	79,000	89.2%
営業利益	2,615	1,209	△ 1,405	△53.8%	1,500	80.6%
営業外収益	148	539	391	-	-	-
営業外費用	282	198	△83	-	-	-
経常利益	2,480	1,550	△ 930	△37.5%	1,600	96.9%
特別利益	20	5	△14	-	-	-
特別損失	5	308	303	-	-	-
税金等調整前 四半期純利益	2,496	1,247	△ 1,248	△50.0%	-	-
四半期純利益	1,471	686	△ 785	△53.4%	800	85.8%

- ・10年3月期第2四半期当初計画は09年5月15日に発表した業績予想数値です。
- ・売上高は、加工食品事業では前年同期実績を上回りましたが、水産商事事業、物流サービス事業、鰹・鮪事業において前年同期比減収となり、当初計画を下回りました。
- ・営業利益は、水産商事事業、加工食品事業、物流サービス事業、鰹・鮪事業の全てにおいて前年同期比減益となり当初計画を下回りました。
- ・営業外収益は主にあきんどスシロー株式売却に伴うみなし配当金により前年同期比増、営業外費用は支払利息減により前年同期比減となりました。
- ・経常利益は前年同期比減益となり、当初計画を下回りました。
- ・特別損失において、あきんどスシロー株式の売却損が発生しました。
- ・当期純利益は前期実績、当初計画とも下回りました。

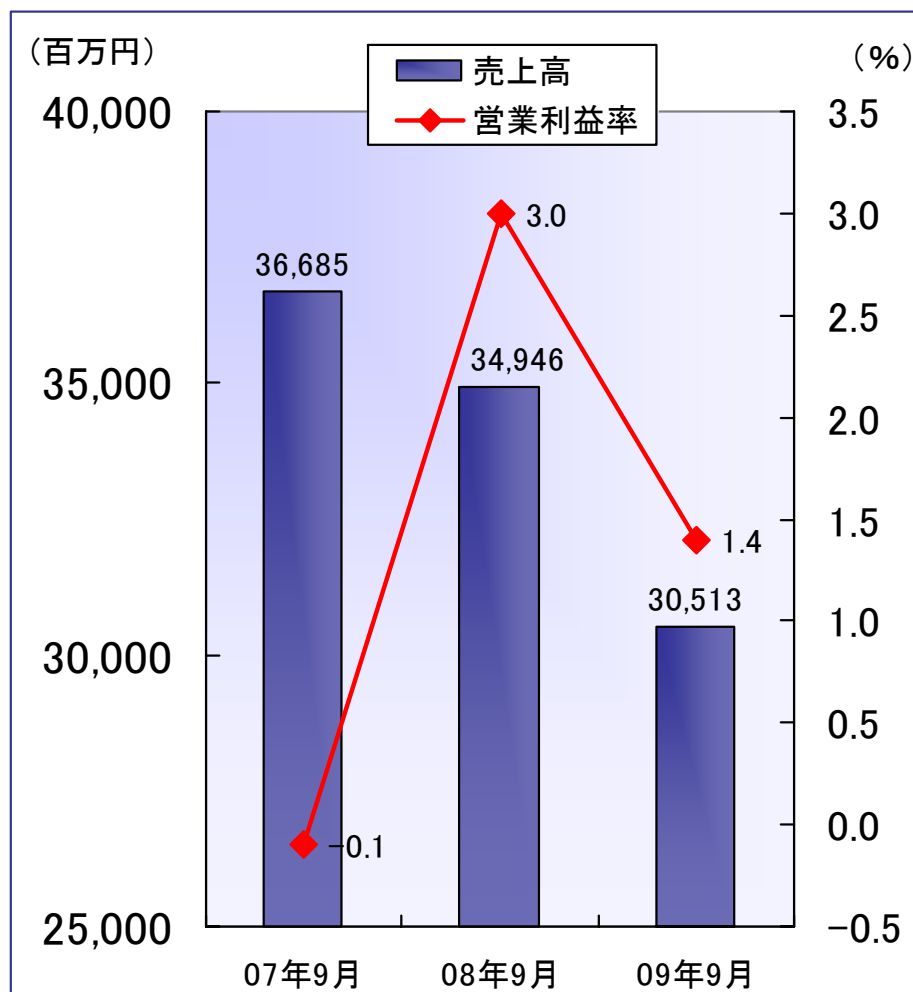
## 2. (連結)事業セグメント別売上高・営業利益(前年同期比)

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	09年3月期 第2四半期 実績	10年3月期 第2四半期 実績	前年同期比	09年3月期 第2四半期 実績	10年3月期 第2四半期 実績	前年同期比
水産商事	34,946	30,513	△ 4,432	1,045	433	△ 612
加工食品	25,236	27,925	2,689	553	477	△ 76
物流サービス	3,262	2,452	△ 809	453	127	△ 325
鯉・鮪	10,166	9,545	△ 621	826	426	△ 399
その他・本部調整	32	27	△ 5	△ 263	△ 255	8
合計	73,644	70,465	△ 3,179	2,615	1,209	△ 1,405

## 3. (連結)事業セグメント別概況、売上高・営業利益率

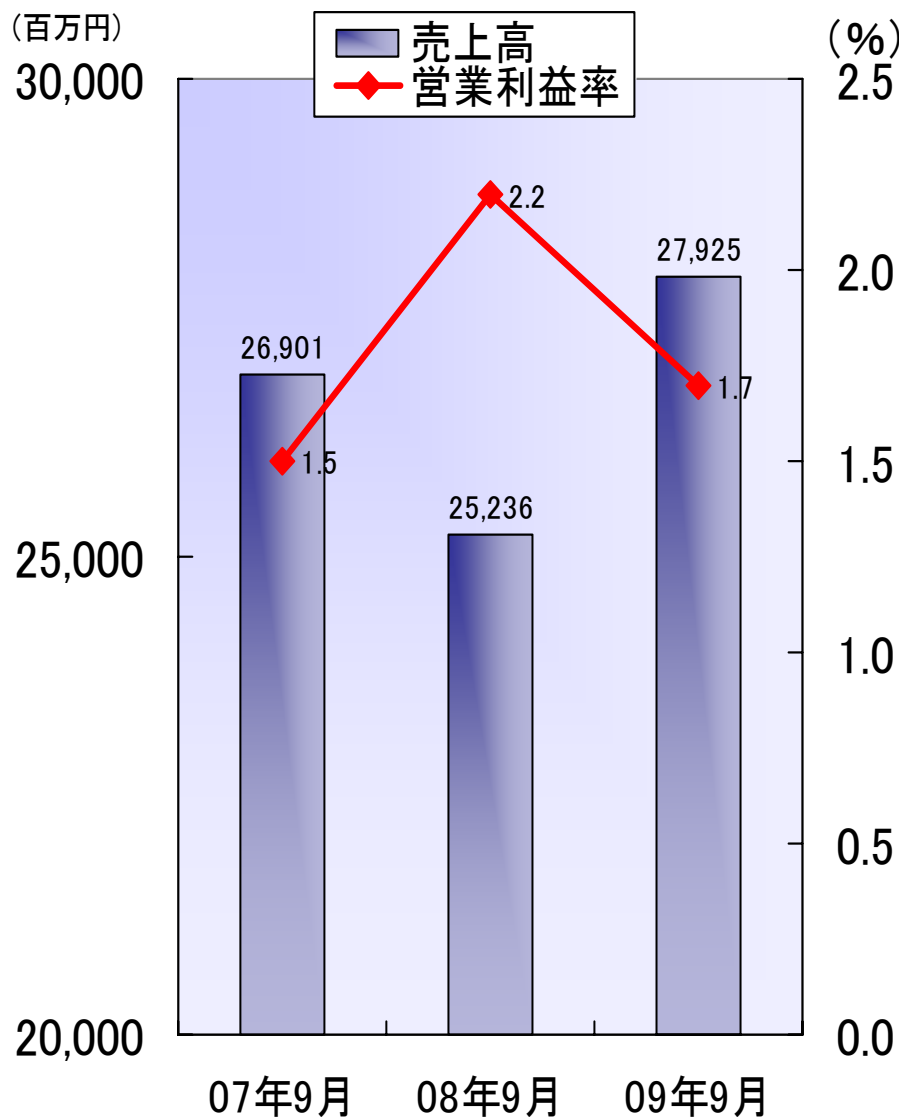
### (1)水産商事事業—水産物の買付・販売



#### 売上高・営業利益率前年同期比低下の 主な要因

- ①北洋魚(ほっけ等)の取扱い減
- ②かに等高単価商材の販売不振
- ③えびは、市況が下がり値頃感が出て、販売に注力した結果、数量増となったが、販売単価下落で売上は前期実績に届かなかった。

## (2)加工食品事業—冷凍食品、常温食品の加工及び販売



### 売上高前年同期比増加、営業利益率低下の主な要因

#### 水産冷凍食品

- 売上、利益ともほぼ昨年並を確保
- ・低価格志向に対応した寿司種商材、加熱用商材を国内向けに展開
- ・欧米向けには、タイの合弁会社KUE社で生産した寿司商材中心に拡販に努めた。

#### 調理冷凍食品

- ・畜肉製品の取扱減
- ・国内工場で加工される高単価製品の販売不振

#### 常温食品

- ・ジョッキの売上への貢献(前期9月末連結子会社化)
- ・魚介缶詰(さば、さんまの味付調理缶詰)の取扱増

## (3) 物流サービス事業—冷蔵倉庫事業、冷蔵運搬船事業

**冷蔵倉庫事業**は、営業力強化と事業の効率化に努め、前年同期比増収増益となりました。

**冷蔵運搬船事業**は、急速な円高や国際的な市況低迷の影響を受け、前年同期比減収減益となりました。

## (4) 鰹・鮪事業—鰹鮪加工及び販売事業・海外まき網事業・養殖事業

### (1) 鰹鮪加工及び販売事業

- ・生産体制の効率化、外食ルートなどへの積極的な拡販に注力し、前年同期比増収増益となりました。

### (2) 海外まき網事業

	2008年9月	2009年9月	前年同期比
水揚数量(トン)	14,455	12,399	△2,056
水揚金額(百万円)	3,020	1,780	△1,240
単価(円/KG)	208	143	△65

- ・東沖における不漁、魚価の下落により、前年同期比減収減益となりました。

### (3) 養殖事業

- ・初年度(2007年度)活け入れした3年目の成魚出荷を今年9月より開始
- ・今期中に生簀を3基増やし7基体制へ



# 2010年3月期 第2四半期決算概要

## 4. 連結貸借対照表

(単位:百万円)

### 主な増減内訳(対前年同期比)

	資産の部		
	08年9月末	09年9月末	前年同期比
流動資産	50,493	48,999	△ 1,494
固定資産	17,873	18,322	449
資産合計	68,366	67,321	△ 1,045
	負債の部		
	08年9月末	09年9月末	前年同期比
流動負債	44,496	42,420	△2,075
固定負債	5,236	6,689	1,453
負債合計	49,733	49,110	△622
	純資産の部		
	08年9月末	09年9月末	前年同期比
純資産合計	18,633	18,211	△ 422

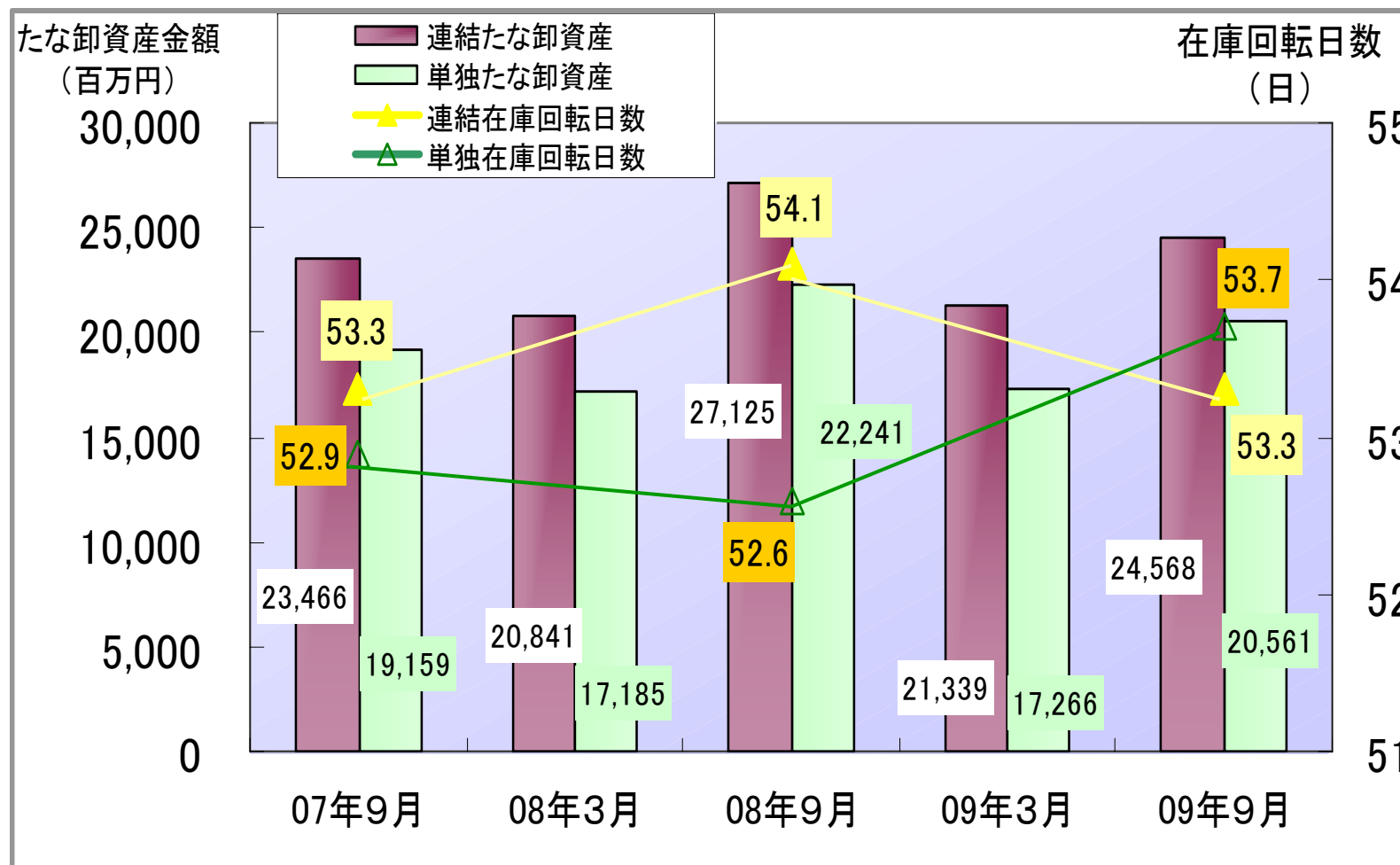
<b>流動資産</b>	
[現金及び預金]	△6億円
[受取手形・売掛金]	3億円
[たな卸資産]	△25億円
<b>固定資産</b>	
[有形固定資産]	11億円
[投資その他の資産]	△5億円
・投資有価証券	△13億円
<b>流動負債</b>	
[短期借入金]	△3億円
[未払法人税等]	△7億円
<b>固定負債</b>	
[長期借入金]	9億円
[退職給付引当金]	8億円
[長期未払金]	△3億円
<b>純資産</b>	
[株主資本]	1億円
[評価・換算差額等]	△7億円

## 5. キャッシュ・フロー計算書(連結)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円) △3,292	(百万円) △2,185	税金等調整前当期純利益 12億円 売上債権増 △14億円 たな卸資産増 △31億円 仕入債務増 14億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,157	△2,395	固定資産の取得 △16億円
財務活動による キャッシュ・フロー	4,949	3,604	短期借入金増 35億円 長期借入金減 9億円 配当金の支払 △5億円
現金及び現金同等 物に係る換算差額	13	13	
現金及び現金同等 物の増減額	513	△963	
現金及び現金同等 物の期首残高	2,836	3,707	
現金及び現金同等 物の期末残高	3,349	2,744	

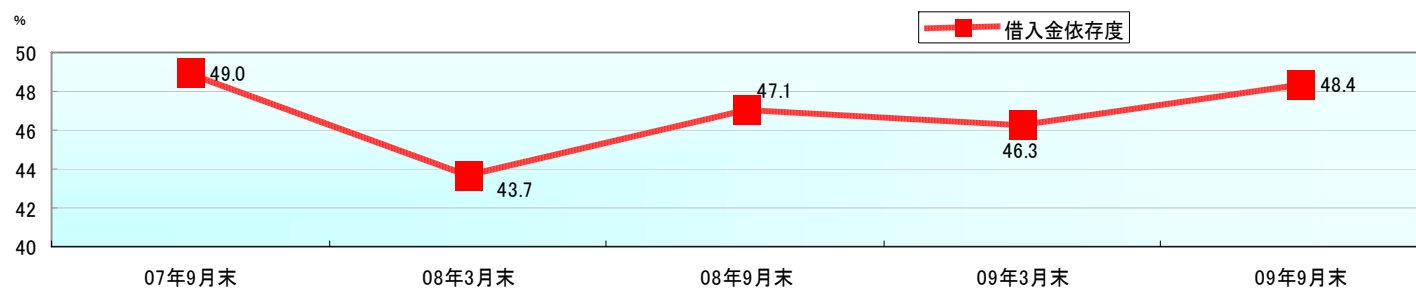
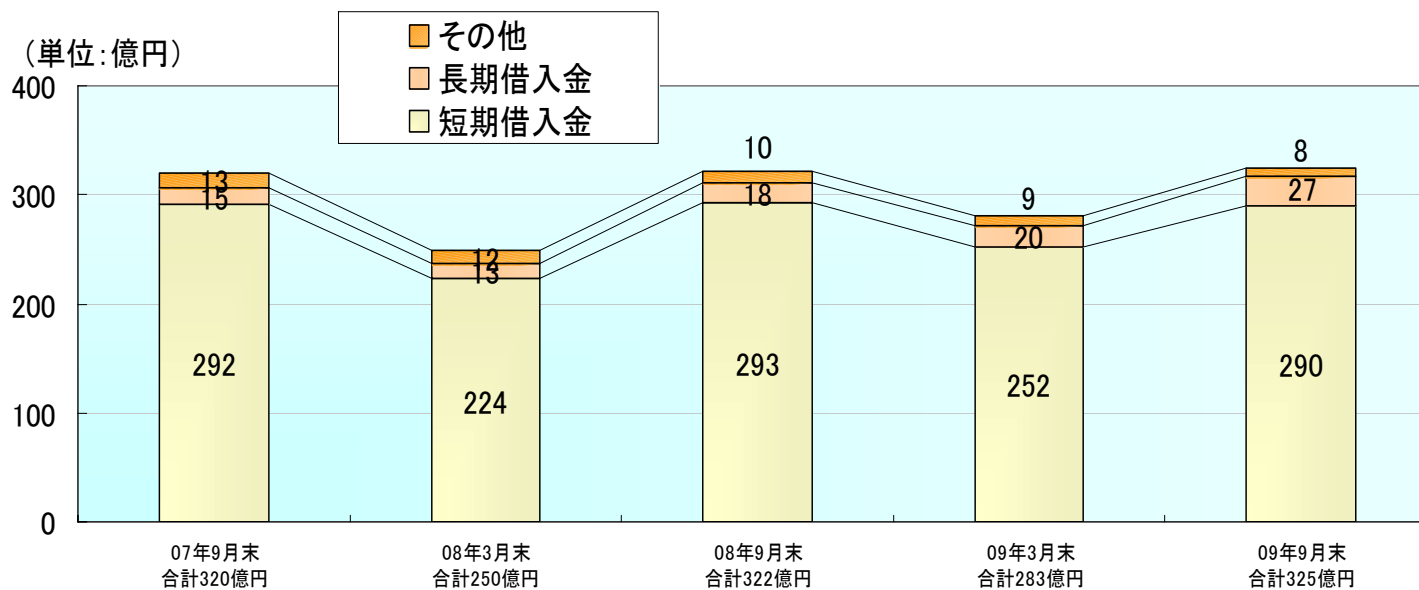


## 6. たな卸資産金額・在庫回転日数推移



- ・在庫回転日数の算出には前期末と当期第2四半期末商製品在庫高の平均値を使用しています。
- ・中間期の在庫回転日数を算出する売上高は、第2四半期末実績の倍数としています。

## 7. (連結)有利子負債 推移



借入金依存度(有利子負債／総資産)

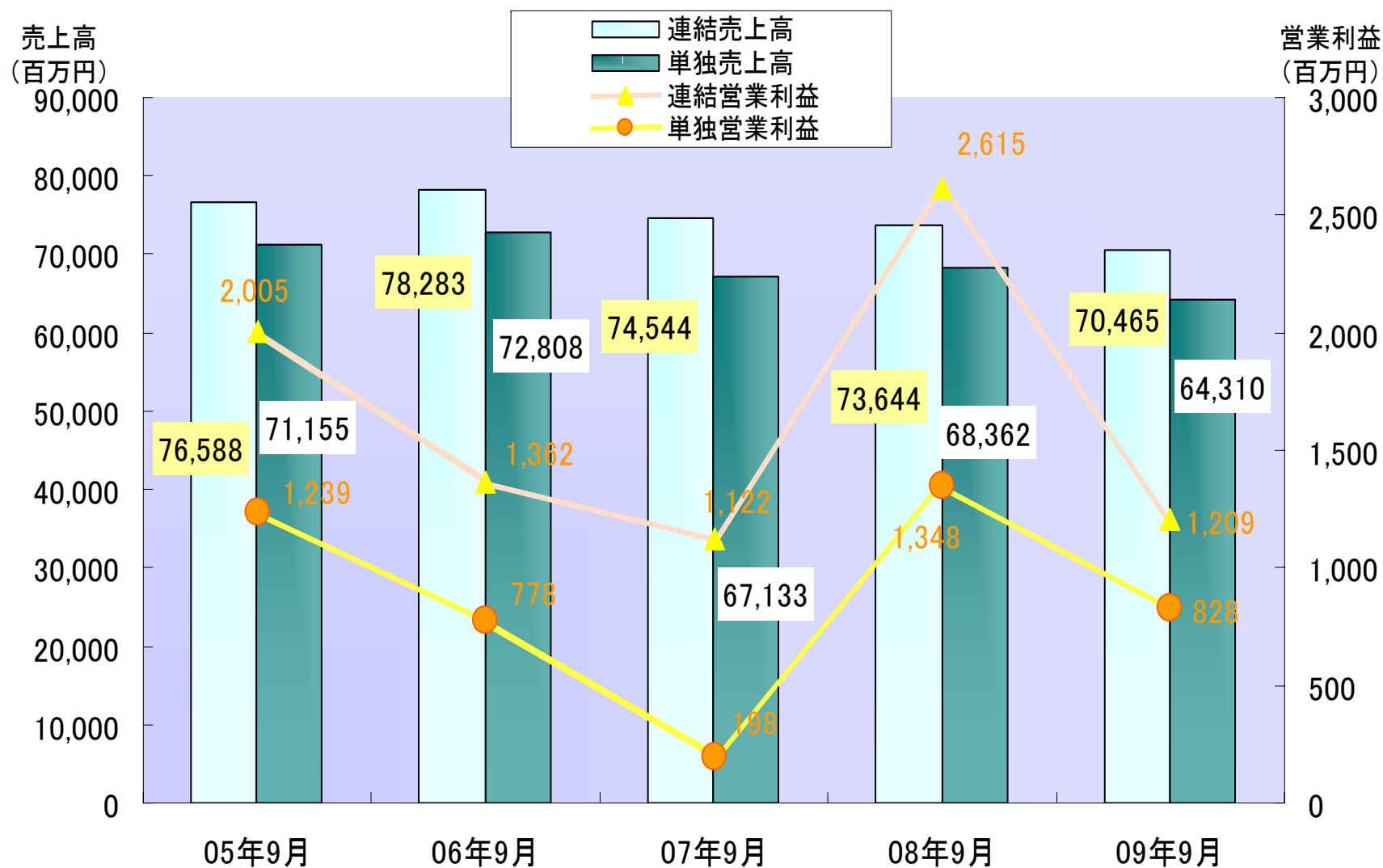
09年9月末の有利子負債残高は325億円と09年3月末から42億円増加しました。

## 8. (連結)経営指標

	08年9月末	09年9月末	前年同期比
純資産	18,633百万円	18,211百万円	△422百万円
自己資本比率	26.7%	26.4%	△0.4ポイント
自己資本利益率(ROE)	8.2%	3.9%	△4.3ポイント
総資産経常利益率(ROA)	3.9%	2.4%	△1.5ポイント
売上高営業利益率	3.6%	1.7%	△1.9ポイント
1株当たり純資産	172円12銭	167円82銭	△4円30銭
1株当たり当期純利益	13円86銭	6円49銭	△7円37銭

- ・純資産は、評価・換算差額等の影響により、前年同期比減少しています。
- ・前年同期比減益の影響により、ROE、ROA、1株当たり当期純利益は前年同期比減となりました。

## 9. (連結・単独) 売上高・営業利益推移





# 2010年3月期 第2四半期決算概要

## 10. 単独損益計算書

(単位:百万円)

	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	前年同期比		10年3月期第2四半期	
			(増減金額)	(比率)	当初計画	達成率
売上高	68,362	64,310	△ 4,052	△ 5.9%	71,000	90.6%
営業利益	1,348	828	△ 519	△ 38.6%	900	92.0%
経常利益	1,518	1,239	△ 278	△ 18.3%	1,200	103.3%
四半期純利益	950	641	△ 308	△ 32.5%	650	98.8%

- ・10年3月期第2四半期当初計画は09年5月15日に発表した業績予想数値です。
- ・当第2四半期は水産物の市況が全般的に堅調に推移した前年同期比減収減益となりました。
- ・また、当初計画に比べ売上、営業利益ともに及びませんでした。支払利息減などの影響により経常利益は上回りました。

## 11. (単独)魚種別品種別 売上数量・金額・単価

### (1)水産加工事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円//KG)

	09年3月期9月末			10年3月期9月末			前年同期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
鮭鱒	14,434	8,375	580	12,132	7,421	612	△ 2,302	△ 954	32
南方魚	3,607	2,293	636	3,361	2,003	596	△ 246	△ 290	△ 40
北洋魚	24,372	10,015	411	16,960	7,235	427	△ 7,412	△ 2,780	16
エビ	9,382	8,467	902	9,885	8,459	856	503	△ 8	△ 46
カニ	1,606	2,500	1,557	1,153	1,712	1,485	△ 453	△ 788	△ 72
鰯鯖鱒	3,103	1,160	374	2,930	1,015	346	△ 173	△ 145	△ 28
魚卵	1,326	1,834	1,383	1,771	2,468	1,394	445	634	11
その他	3,016	2,130	706	2,953	1,778	602	△ 63	△ 352	△ 104
計	60,846	36,774	604	51,145	32,091	627	△ 9,701	△ 4,683	23

### (2)海外事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円//KG)

	09年3月期9月末			10年3月期9月末			前年同期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
北洋魚	2,829	402	142	4,333	670	155	1,504	268	13
鮭鱒	197	55	279	367	81	221	170	26	△ 58
その他	335	193	576	865	147	170	530	△ 46	△ 406
計	3,361	650	193	5,565	898	161	2,204	248	△ 32



# 2010年3月期 第2四半期決算概要

## (3) 冷凍食品事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

	09年3月期9月末			10年3月期9月末			前年同期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
水産冷凍食品	11,613	10,991	946	12,183	10,920	896	570	△ 71	△ 50
調理冷凍食品	14,356	8,202	571	12,977	7,308	563	△ 1,379	△ 894	△ 8
計	25,969	19,193	739	25,160	18,228	724	△ 809	△ 965	△ 15

## (4) 常温食品事業

(金額:百万円)

	09年3月期9月末	10年3月期9月末	前年同期比
缶詰・練製品他	3,923	4,715	792

## (5) 鯉・鮪事業

(単位:数量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

	09年3月期9月末			10年3月期9月末			前年同期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
鯉鮪(買付・加工品)	11,552	7,503	649	10,923	8,057	738	△ 629	554	89

# 2010年3月期業績予想及び 下半期施策



## 1. 連結業績予想

(単位:百万円)

	通期予想(10年3月期)			当初予想比(10年3月期)			対前期比(09年3月期)		
	上半期実績	下半期予想	通期予想	当初予想額 (通期)	(増減金額)	(増減率)	09年3月期 実績	(増減金額)	(増減率)
売上高	70,465	79,535	150,000	160,000	△ 10,000	△ 6.3%	147,554	2,446	1.7%
営業利益	1,209	1,491	2,700	3,400	△ 700	△ 20.6%	2,981	△ 281	△ 9.4%
(営業利益率)	1.7%	1.9%	1.8%	2.1%	-	-	2.0%	-	-
経常利益	1,550	1,450	3,000	3,300	△ 300	△ 9.1%	2,873	127	4.4%
(経常利益率)	2.2%	1.8%	2.0%	2.1%	-	-	1.9%	-	-
当期純利益	686	814	1,500	1,800	△ 300	△ 16.7%	1,587	△ 87	△ 5.5%
1株当たり 当期純利益	6円49銭	7円69銭	14円18銭	17円01銭	△ 2円83銭	-	14円97銭	△ 79銭	-

- ・10年3月期の売上高は前期比2446百万円(1.7%増)、営業利益は△281百万円(△9.4%)、経常利益は127百万円(4.4%増)、当期純利益は△87百万円(△5.5%)の見込みです。
- ・09年10月30日、当初の業績予想(09年5月15日発表)を修正しました。売上高で△100億円、営業利益で△7億円、経常利益と当期純利益でそれぞれ△3億円下方修正しております。

## 2. 事業セグメント別売上高・営業利益予想(連結)

(単位:百万円)

			売上高						営業利益					
			第2四半期		下半期		通期		第2四半期		下半期		通期	
			当期	前期	当期	前期	当期	前期	当期	前期	当期	前期	当期	前期
水産商事	当初予想	前期実績	36,500	34,946	37,500	33,742	74,000	68,688	600	1,045	700	△ 174	1,300	871
	実績・修正予想		30,513		35,487		66,000		433		767		1,200	
加工食品	当初予想	前期実績	30,000	25,236	31,000	29,003	61,000	54,239	600	553	900	502	1,500	1,055
	実績・修正予想		27,925		31,575		59,500		477		723		1,200	
物流サービス	当初予想	前期実績	2,600	3,262	2,900	2,961	5,500	6,223	100	453	300	69	400	522
	実績・修正予想		2,452		2,948		5,400		127		△ 27		100	
鰹・鮪	当初予想	前期実績	9,900	10,166	9,600	8,144	19,500	18,310	500	826	300	49	800	875
	実績・修正予想		9,545		9,455		19,000		426		374		800	
その他・本部調整	当初予想	前期実績	0	32	0	59	0	91	△ 300	△ 263	△ 300	△ 80	△ 600	△ 343
	実績・修正予想		27		73		100		△ 255		△ 345		△ 600	
合計	当初予想	前期実績	79,000	73,644	81,000	73,910	160,000	147,554	1,500	2,615	1,900	366	3,400	2,981
	実績・修正予想		70,465		79,535		150,000		1,209		1,491		2,700	

- ・前期下半期は、世界的な景気後退の影響で、年末販売が不振に終わったことなどから苦戦しました。
- ・当期下半期も厳しい状況の継続が見込まれますが、年末商戦への最大限の注力をはじめ、積極的な事業展開に努めます。

## 3. 下半期施策 — 最大の商機である年末商戦に注力 —

### 【水産商事事業】

#### ☆適時適量買付徹底

産地情報、消費動向等現場情報の収集と分析、発信と共有により常に適切な対応を徹底。

#### ☆在庫管理強化

適時適量買付の励行と在庫管理強化により、負け在庫の発生、長期化による不要な保管料・金利発生の未然防止。

#### ☆高付加価値製品取り扱い強化

- 鮭鱒(スモークサーモン)
- エビ(ムキエビ、伸ばし製品)
- 魚卵(味付いくら、筋子)

#### ☆得意魚種の取り扱い増

- 北米産ホッケの安定供給ルート確保
- カニ製品は需要期である年末・冬の鍋商材に注力
- ノルウェーサーモン、ニュージーランドキングサーモンの扱い増
- 単価安となったノルウェーサバの扱い増
- 赤魚、かれい等の下半期加工用原料確保済

#### ☆海外ネットワーク活用による輸出・三国間取引の拡大

- わかば丸漁獲のかつおを缶詰原料としてタイ向け輸出拡大
- アメリカ(キョクヨーアメリカ)より中国(青島極洋経由)への加工原料販売拡大

## 【加工食品事業】

### ①水産冷凍食品事業

- ☆低価格商品の開発・導入の強化、促進
- ☆国内産原料活用(いくら、金華さば)
- ☆大手ユーザー(回転寿司チェーン、医療給食、コンビニ各社、弁当チェーン等)への拡販
- ☆寿司種、冷凍寿司の欧米向け販路の拡大

### ②調理冷凍食品事業

- ☆低価格商品の開発・導入の強化、促進
- ☆国産原料活用(北海道産品等)
- ☆国内関係会社工場製品(オーシャンキング極、クリーム製品等)の拡販
- ☆鶏肉製品の拡販
- ☆生産拠点の分散(カントリーリスク回避)

### ③常温食品事業

- ☆味付調理・ツナ缶詰の拡販強化(新型インフルエンザ対策、内食化に対応)
- ☆珍味製品の拡販(株)ジョッキとの連携強化)



## 【物流サービス事業】

### ①冷蔵倉庫事業

☆集荷営業強化に注力

☆事業関連業務(運送業他)の規模拡大

### ②冷蔵運搬船事業

☆効率的配船による安定収益確保

・年間契約や中長期の貸船契約等の維持

・スポットカーゴに対する効率的な集荷配船の実施

☆経費削減(収益確保優先)

・修繕費抑制

・定期傭船料引き下げ

・運航経費削減



# 2010年3月期業績予想及び下半期施策

## 【鯉・鮪事業】

### ①鯉鮪加工及び販売事業

- ☆脂物(本まぐろ、インドまぐろ)の適時適量の買付販売
- ☆生鮮まぐろの販売ルート拡大(キョクヨーマリンファーム本まぐろ他)
- ☆高付加価値製品(まぐろスライス、ネギトロ、タタキ他)生産のための極洋水産大井川工場設備増強の実施

### ②海外まき網事業

- ☆大型新船第7わかば丸をはじめ計4隻の効率的操業
- ☆被代船第8わかば丸の山川プロジェクトへの貸船

### ③養殖事業

- ☆事業場の拡大(他地区も含め適地検討中)
- ☆当期活け入れ予定稚魚を確保



# 2010年3月期業績予想及び下半期施策

## 【販売支援・管理】

☆品質管理体制の更なる強化

・青島駐在員事務所内に中国食品安全管理室を設置(2009年4月)

☆長期在庫の削減と適正在庫維持の管理徹底

☆物流業務の効率化(受注・仕入業務集約化)と経費削減(システム強化とカートン  
ダウンサイジング推進)

☆コンプライアンス体制の更なる強化

☆内部統制システムの整備・運用強化

☆ISO14001に基づく環境経営の継続的改善  
(更新審査 11月)



# 2010年3月期業績予想及び施策

## 5. 設備投資計画

### (1) 極洋(単独) 7億円

鯉鮪加工工場・設備増強	2億円
	(翌期にかけ総額8億円)
まぐろ養殖設備増強	1億円
調理食品加工設備増強	2億円
ソフトウェア	2億円

### (2) 関係会社 22億円

海外まき網船建造	13億円
	(前期建仮分含め総額21億円)
同 搭載艇建造	2億円
関係会社工場 製造設備増強他	7億円

**合 計 29億円**



本資料は2009年9月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的として作成しており、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。したがって実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なることがありますのでご承知おきください。



### 当資料に関する問い合わせ窓口

株式会社 極洋 企画部 電話03-5545-0703